

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 瑞穂会	代表者	手嶋 寛人	法人・ 事業所 の特徴	高齢者家族の利用者・家族が自営業を営んでいる利用者・訪問リハビリを利用されている利用者など多様な利用者を受け入れ在宅生活・在宅介護の支援を行っている。利用者や家族の状態、状況変化や要望に応じての通い・泊りや利用時間の変更等にも柔軟な支援を心掛けている。
事業所名	小規模多機能 やはぎ苑	管理者	後藤 恒祐		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	できている項目を継続し、それぞれの職種が連携・協力しより良い支援となるように取り組む。	利用者への直接的な日常支援については概ね良い評価を継続でき、情報の共有を通して職種間の連携・協力も図れた。	新型コロナウイルス感染症防止の為、運営推進会議開催できず、意見を頂けず。	事業所自己評価項目を通して支援の方向性を意識し、より良い支援になるよう取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者の思いを阻害しないよう安全にも配慮し、居心地のよい施設となるよう環境整備する。	安全への配慮をしつつ、利用者の思いや行動にも配慮した環境を心がけることが出来た。	新型コロナウイルス感染症防止の為、運営推進会議開催できず、意見を頂けず。	事業所内外の衛生管理や美観に配慮し、清潔な環境を提供する。
C. 事業所と地域のかかわり	日中活動や地域行事への参加を通して利用者・職員が地域との繋がりへの意識を高め また、地域の人々にも施設理解を深め、地域資源のひとつとして認識されるよう努める。	コロナ禍において、事業所行事や地域行事が中止となり、事業所と地域との関りが希薄となる。	新型コロナウイルス感染症防止の為、運営推進会議開催できず、意見を頂けず。	感染防止に配慮しつつ、利用者が地域との繋がりを保てるように配慮する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域資源のひとつとして、はしめ包括や町内会等の様々な機関と連携・協力する	はしめ包括とは連携を取りながら地域高齢者を保護する事案もあった。	新型コロナウイルス感染症防止の為、運営推進会議開催できず、意見を頂けず。	オレンジカフェやはぎの開催協力をはじめとする、はしめ包括等地域の様々な機関と連携・協力をする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後とも運営推進会議を通して事業所の取組みや改善点を報告・相談する。	本年度は新型コロナウイルス感染症感染防止の為、運営推進会議が開催できず、書面での現状報告のみとなる。	新型コロナウイルス感染症防止の為、運営推進会議開催できず、意見を頂けず。	運営推進会議を通して事業所の取組みや改善点を報告・相談する。

F. 事業所の 防災・災害対策	防災訓練の実施により、防災意識を高め避難誘導等の練度を深める。また、施設の防災設備の運用理解も高める。	定期的な避難訓練の実施により、防災意識が向上し、通報訓練や消火訓練にも参加できた。	新型コロナウイルス感染症防止の為、運営推進会議開催できず、意見を頂けず。	防災訓練を定期的に行い、有事の際には職員全員が適切に対応できるように訓練する。
--------------------	---	---	--------------------------------------	---